

# 令和2年度 セミナー 教科リフレクションシート

実施日	教科	名前	単元・題材名
10月21日(水)	音楽科		いろいろな音のひびきをかんとろう

## 目指す子供の姿

「曲のひみつをみつけよう」という課題から、トランペットとホルンの音の響きを多面的に聞き取り、楽曲に対する思いや感じ取った楽曲の特徴・よさについて考える姿を引き出す。また、児童個人が考えた楽曲のよさについて他者に伝え合うことを通して、他者の楽曲に対する思いを知ったり、自分の考えを深め、さらに音楽を深く味わって聴く姿につなげる。

## 手立て

### ① 現実・価値・貢献の視点を伴い、動詞表現にこだわった課題設定

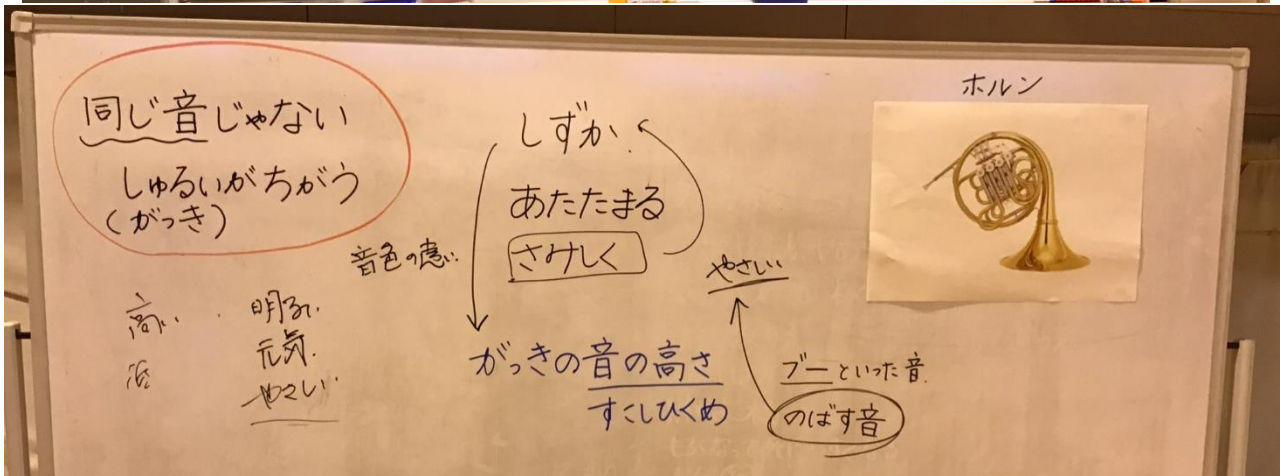
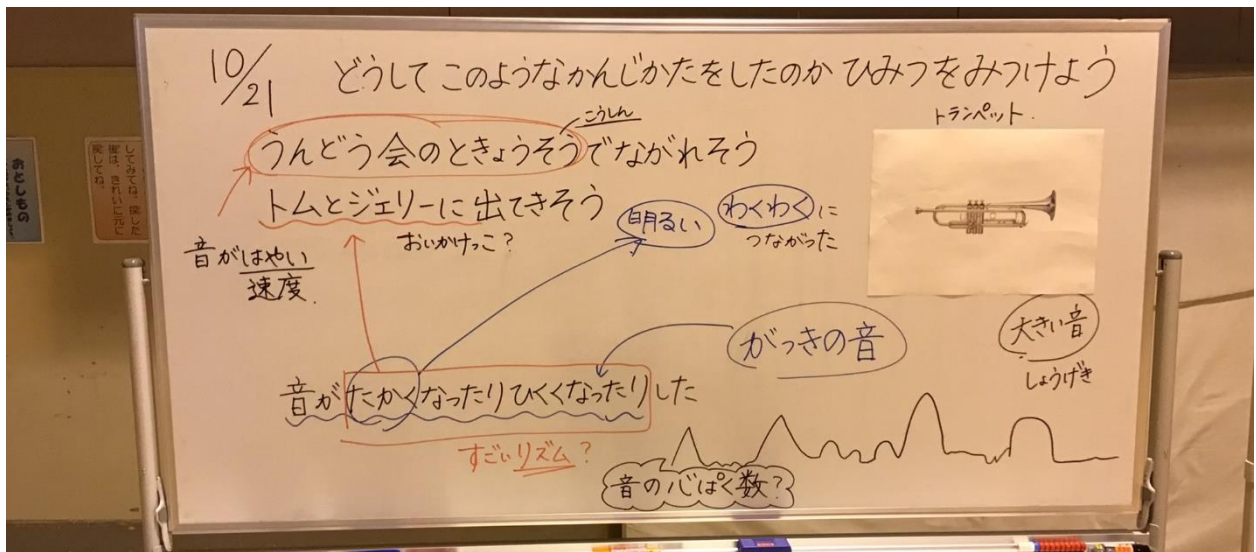
金管楽器は、それぞれの形にはっきりとした違いがあり、楽器の形に伴って音色や音の高低が変わり、音色の違いがわかりやすいといった特徴がある。本題材では、金管楽器の仕組みや金管楽器の音色、金管楽器が演奏する楽曲のよさを「ひみつ」とし、その「ひみつ」を「見つける」ことをゴールとした。


### ② 認識が不足している思考に焦点を当てる発問の工夫

楽曲の特徴を手がかりとしながら曲全体がどのような構造となっているのかを見通して聴くこと、自分にとっての楽曲のよさを見いだす事が大切となる。本時では、「どうしてこのように感じたのだろう」と問いかけ、音楽を形づくっている要素(音色や旋律、反復など)と曲想の二つを相互に関連させることによって、楽曲のよさなどを見いだしていくことを目指していく。

## 1. 研究協議を経た成果と課題

- 手立ての場面を中心とした子供の姿や教師のかかわりについて



教師と子供の言動	観察者の分析
<p>T 前回どんな学習をしたか覚えているかな？  C 金管楽器について勉強した  T どんな楽器があったかな  C トランペット・ホルン・トロンボーン・チューバ  T その4つの楽器の今日はその金管楽器で演奏された曲について聴いていきます  T それでは、1曲目から聞いていくよ  T ワークシートを配るよ</p>	
<p>〈トランペット吹きの日 1回目〉</p>	<p>・ワークシートに感じたことを整理する</p>
<p>C 何か映画で流れそうな感じ  T どんな感じがしたか周りのお友達と話してみようか</p>	
<p>【交流】</p>	
<p>C 運動会の時の徒競走で流れそう  C トムとジェリーに出てきそう  C 音がでかくなったり小さくなったりする曲  T どうしてみんなはこんなイメージをもったのかなという秘密を見つけてもらおうと思います</p>	<p>・イメージの共有を図る  ○△イメージだけではなく、すでに要素（強弱）に気付いている児童がいた  ⇒本時の目標は「音色」と「旋律」の秘密を見つけることであるので、課題もしくは発問の中に「音色」「旋律」のポイントを児童に伝えるなどして視点をしばって鑑賞に取り組みさせるべきであった</p>
<p>【課題の共有】</p>	
<p>T 全員にこうだからだよとお話してもらえようになってほしいのもう一度曲を流します 秘密を探してみよう  〈トランペット吹きの日 2回目〉</p>	
<p>C 楽器の音の高い低いの繰り返しがあったから 楽しいと感じるのではないのかなと思った  T トランペット音が高くなったり低くなったりしているからおもしろそうなんだね</p>	<p>・音楽の仕組み（反復）、音楽を特徴づけている要素（強弱）について着目している子がいた</p>
<p>C いろいろな楽器が使われているから楽しいんじゃないかな  T 実はいろいろな楽器が使われているよ そこに気付けたのがいいですね  ただ、今回の主役の楽器は何だろう</p>	
<p>C トランペットじゃないかな  T 「トランペットについて」で考えるとどうだろう  C トランペットは高くなったり低くなっているから、追いかけてこするように聴こえた  T 何が追いかけてこしているの  C すごいリズムがあったから激しく感じた  T すごいリズムって？  C (図で表す)</p>	<p>○「主役の楽器」とすることで、トランペットに着目させることができていた  △「トランペット吹きの日」はオーケストラ演奏であったため、トランペットのみの音色に着目させるとなると難しい  ⇒トランペットのみで演奏された「トランペット吹きの日」もしくは「アレグロ」をトランペットで演奏したものを聴き比べるなどすると、音色に着目して鑑賞できたのではないかな</p>
<p></p>	<p>○「すごいリズム」という言葉から、児童同士が図や音楽の言葉をつなげて説明しようとしていた【LsFsの姿】</p>
<p>C 音の大きさ？音の高さ？  こうたくんのは音の心拍数みたいなものだから、音の大きさや音の高さだと思う  T 別の金管楽器で演奏された曲はどのように聞こえるのだろう 別の曲も聴いてみよう</p>	<p>△図が「音の高さ」「音の大きさ」とも捉えられるものであったため、本時で児童に捉えさせたいねらいとずれてしまっていた  ⇒教師が事前に用意していた旋律の図を提示するなどして、児童の説明を明確にするべきであった</p>
<p>〈アレグロ 1回目〉</p>	
<p>T 金管楽器で演奏された曲でした  トムとジェリーみたいに聴こえたかな  C えー全然違うよ  T どうして？  C だって違う楽器だし。金管楽器っていう名前は同じだけど種類が違う 全部が全部違う音だ</p>	

<p>C 金管楽器は種類が一つ一つ違って、音が全部違う  T ということは、種類が違えば聴こえ方も違うの？  C だって静かじゃん  T そうか。静かに聞こえるのか。なんの楽器だろうね？  C ホルンだと思う  T えっ？わかるの？実は、この曲の楽器は「ホルン」で演奏されています  ホルンで演奏された楽器は静かに聞こえるの？  C あまり大きな音じゃなかったから、静かに演奏されていた  C なんかタラララ〜って演奏されていたよね  C さみしい感じもした  C トランペットの方はジャカジャカ鳴っていて行進みたい  ホルンはホワホワして、優雅に感じた  C いや、音の高さによって変わる。トランペットは「攻撃」で、ホルンは「あ  たたまる」かんじ  T 今のみんなの話を聞いてみると、楽器の音によって聴こえ方が違うよう  にみんなは聴こえたんだね  次回はトロンボーンとチューバで演奏された楽器のひみつをみつけてい  くよ</p>	<p>○楽器が異なることから、音色も異なるということ  に気付いていた  ○トランペット・ホルンの音色の違いについて、「こ  の楽器だと静かな感じ」「激しい」など、児童の対  話を通して、イメージと音楽の構造を関連させて  いた【LsFsの姿】</p>
---	--

●助言者・共同研究代表者からご助言

<p><b>【助言者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクを使うなどの工夫があり、「できない」ではなく、「こうすればできる」という前向きな姿があった。授業の前の走り回る姿など、あらためて（昨年の研究授業の）「シンクレーションクロック」の子たちだと感じた。ユニークで豊かな発想、1年たってボキャブラリーが増えていた。アレグロでは子どもたちの目と耳が変わった。「トランペット吹きの休日」を聴くときに聴くポイントをつかんでいた。だから書くスピードが速かった。</li> <li>・1曲目と2曲目の対比あればもっとよかった。次の時間にもいかすことができた。1曲目「運動会」というワードがでてきた。「トムとジェリー」など、指導案の中に出てくる言葉がぼんぼん出ていた。どんなアニメで？どんな競技に使える？ちょっと言葉を与えてあげればさらにふくらんだ。鑑賞で1つの曲を聴きこんでいた。今は聴き比べの授業が多い。共通するものが生活に結びつく。授業をしていると曲名や作曲者伝えたい。アンダーソンと言ってしまいそうになる。そんなことおかしななしに、あえて題名をださない。そこからくる曲想、「この曲ってどんな感じ？」「どんな時に使える？」「前に聞いた曲」「こんな感じで演奏してみれば」。附属中の齋藤先生の創作の授業のBGM作りはその集大成の授業である。授業のひとつひとつが学びにつながり、いつかきっと他の活動につながる。それを目指して日々授業をする。</li> <li>・子どもたちの言葉や体の動きは今日もたくさんあり、もっと引き出してもよいと思う。それでも曲のよさ味わっている。音楽的に質が高い。曲を聴いて波形を書いている児童がいたり、アクセントという言葉がでてきたりしていた。「アクセントって何？」こういう質問を先生にしたら、スタッカートなど他の言葉も広がっていくのではないかと。曲の構造のとらえにおいて速度も重要である。曲想にいくためには、速さをくらべるという手段もある。教科書会社は先生方が活用できるようにさまざまな教材を提供している。ゲストティーチャーをよべればいいけど実際毎回となると難しい。QRコードを読み込んでのデジタル教材などがあり、授業に活用できる。自分たちで1から作れば大変なので、活用してはみてはどうか。教科書の改定にあたり内容解説が出ている。今回の教科書の趣旨は「つながる」を大事にしている。</li> </ul>
---

●その他 手立てに直接かわらないが、授業に関係するご意見等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・話したいことを、言葉に表すということは中学校では結構難しい。聴いて感想はかける。イメージや特徴、なぜそう思ったかが書きづらい傾向がある。</li> <li>・音色を聴くのか、旋律を聴くのか。はじめに先生からどのような指示があったかを明確にするべきなのでは。</li> <li>・イメージと要素が一緒になって子どもたちからでていた。どんな場面を想像したかなどイメージに特化していればと感じた。自分ならそういう流れで授業をしていたかと思う。子どもたちは自分が感じたことを表現する言葉がまだ少ない。言葉を教員側が提示して選ぶような形もどうか。</li> <li>・音色と旋律では、子どもたちは音色を聴きとっていた。ここで切っけてもよかったのではないかと。後の授業で旋律に触れ、その時音色に戻ってつなげればよかったのではないだろうか。</li> </ul>
--

- ・生徒の中から音色を聞くのにあたり、どんな答えがでてくれればよいと思っていたか。
- ・音が高いと子どもたちが言っていたのは強弱のことかと気になった。そのあたりはどのように思っていたのか。
- ・子どもたちからボンボンイメージがでてくるのがすごい。音色に注目させるほうがよかったと私も思う。難しいかもしれないが、ホルンで「トランペット吹きの日」を吹いたらどうなっていたのだろうと思った。楽器を入れ替えて演奏し、それを聴いて子どもたちがどう思うかも興味がある。
- ・思ったことを言葉に表すのは難しい。音楽は人それぞれ感じ方がちがう。思っているけど表現の仕方がわからない。自分の授業では共感しているところを付箋に書いて貼り付けるという活動も取り入れている。
- ・音の高い低いが高いという言葉につながるなど、語彙力が高いと感じた。日頃からそうなのだろうか。
- ・授業者が昨年の研究授業をした際と同じ子どもたちであり) 昨年の授業を参観した先生方には子どもたちの成長をみてほしい。
- ・先生がめあてを書いて、運動会、トムとジェリーなどみんなが曲から感じとるものがあった。あまり欲張らないことが大事だと思う。ちょっといい答えが出ると、次につなげたいと自分も思ってしまう。音色という面でよく意見がでていた。まとめで「曲の感じ方のひみつをみつけよう」というめあてにふれてみんなで共有して次の時間に繋げられる。発達段階をふまえて授業を考えることが大切である。
- ・発問について、どの教科も発問をあまりにもしていると、子どもたちは最初に何を聴かれていたか忘れてしまう。  
あまり広げすぎない、重ねすぎないと思って授業をすることが大事なのではないか。
- ・研究議題について質問だが、(附属小学校の資料の中の)『音楽科における「目指す子供の姿」を実現するための手立ての①に「現実・価値・貢献の視点」とあるが、この3つとも入れるのだろうか？
- ・この3つはつながりあっている。そこに必然性を感じられたらいい。
- ・3つある方がいいが、どれかはあるというおさえである。動機付けがはっきりされて本時に入る、単元に入る。現実が一番身近である。価値は「こんなことがあればレベルアップ」という価値が考えられる課題を設定する。貢献は、例えば「後輩たちのために役にたつ」という思いがあれば、本時の中でも頑張りが続けられる。
- ・衝撃＝アクセント、16分音符のことかと自分でもイメージできた。リズムは細かさがでてくればもっと面白かった。曲がはやいからひとつひとつの音が細かい。子どもの発言に対して田中先生はメリハリがあり切るところは切るなどあざやかである。自分ももっと聞いてしまう。
- ・めあてにある「ひみつ」という言葉だが、これはどういうねらいがあるのか。
- ・子どもたちはすごい想像力だと感じた。田中先生の授業はどんどん発言したくなるワードが先生から出されていた。ひみつもその一つである。子どもたちがしゃべりたくなるような授業だった。アレグロをもう少し聴きたかったと感じた。アレグロが後半になり時間的にも少なかった。トランペットが長かった。アレグロがもう少しあればと思った。

## 2. 授業者および教科担当者からの本時の考察と評価改善の見通し

- ・どの授業でも、「本時で児童に捉えさせたい『音楽を形づくっている要素』『音楽の仕組み』が何かを明確にすること
- ・児童が出る「イメージ」を教師側で多く予想するとともに、児童と児童の言葉をつなげることができるような「発問」「声掛け」「板書」を考えておくべきである
- ・発達段階に応じた「言葉選び」
- ・曲を聴くだけでなく、「なにかを知りたい」「見つけたい」と興味をもって授業に取り組んでもらえるような「課題」「ポイント」の設定
- ・何度でも楽曲を聴くことができるような鑑賞時間の設定

5. 本時の目標 (2/3)

金管楽器で演奏された楽曲を聴き比べることを通して、音色や旋律と曲想との関わりを見つけ、話すことができる。

6. 本時の展開

<p>学習活動 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">〔子供の姿〕 手立て</span></p> <p>教師の働きかけ (○発問, △補助発問, □指示・説明)</p>	<p>◇評価の内容 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">【】</span> 評価の観点</p> <p>・指導上の留意点</p>
<p><b>1 前時を振り返る。</b></p> <p>○前回学習した金管楽器の名前は覚えていますか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・トランペット ・ホルン ・トロンボーン ・チューバ</p> </div> <p>△どんな特徴があったかな？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・楽器の大きさが違った ・演奏の仕方が違った</p> <p>・どの金管楽器もマウスピースで音が出る ・音色に違いがあった</p> </div> <p><b>2 本時の課題を把握する。</b></p> <p>□「今日はトランペットで演奏された曲を聴きます」</p> <p>・「トランペット吹きの休日」を聴く。 ・明るい感じ ・元気な感じ</p> <p>○曲を聴いて感じたことはありますか？ ・追いかけてこしてる感じ</p> <p>○どうしてこのように感じたのかな？ ・何かひみつがありそうだ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>曲の感じ方のひみつを見つけよう I</p> </div> <p><b>3 他者と交流しながら、楽曲のひみつ(よさ)を見つける。</b></p> <p>□「もう一度聴いてみよう」 ・何度か演奏を聴く</p> <p>○気付いたことはありませんか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・リズムが弾んでる ・テンポが速い ・高い音が聴こえた</p> <p>・同じ旋律が出てきた ・何人かで演奏している</p> </div> <p>○気付いたことと、感じたことは関係ありそうですか？</p> <p>△音色や旋律はどうですか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・だって、リズムが弾んでると元気な感じがするよ</p> <p>・テンポが速いと走り出す感じがする</p> <p>・トランペットの高い音があるから明るく聴こえるんじゃないかな</p> <p>・同じ旋律が繰り返してきて、トムとジェリーの追いかけてこをしてるように聴こえるんだと思う</p> </div> <p>□「では、他の金管楽器(※ホルン)で演奏された曲も聴いてみます」</p> <p>○トランペットと同じ金管楽器で演奏されるから、ホルンも同じような感じ方をするのかな？ ・「アレグロ」を聴く</p> <p>○曲を聴いて感じたことは、</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・やさしい感じ ・おだやかな感じ</p> <p>・レストランとかで流れてるよう</p> <p>・やまびこっこしているみたい</p> </div> <p>○気付いたことはあるかな？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・トランペットよりは低い音が聴こえた ・テンポはそんなに速くない</p> <p>・さっきの曲と同じで、旋律が繰り返して来た</p> </div> <p>○どうしてこのように感じたのだろうか？何かひみつはあるのかな？ II</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・トランペットと比べて、ホルンは少し低い音だから、やさしい曲に聴こえて、レストランとかで流れているように聴こえたんだと思う</p> <p>・旋律が繰り返して来たから、やまびこっこしているみたいに聴こえるのかもしれない</p> <p>・さっきの曲とテンポが違うから、おだやかに聴こえたんじゃないかな</p> </div> <p><b>4 本時で学んだことを振り返る。</b></p> <p>○曲の感じ方のひみつは見つけられたかな？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・楽器によって音(音色)が違うから、曲の感じ方も違うように聴こえてくるといひみつを見つけられた</p> <p>・旋律の繰り返しが出てくるけど、音の高さも変わったりするからおもしろく聴こえるということがわかったよ</p> </div>	<p>・必要に応じて、楽器の写真を見せる</p> <p>・音源は、教育芸術社鑑賞 CD1 を使用する</p> <p>* トランペット吹きの休日：選曲については、運動会の BGM としてもなじみのある3本のトランペットを主役とする曲となっている。リズムカルな旋律の流れから感じられる陽気な曲となっている。(時間：2分40秒)</p> <p>* アレグロ：曲の構成が A-B-A コーダと言って簡単なもので演奏時間も短くなっている。2本のホルンのみで演奏され、繰り返し出てくる旋律とホルンの柔らかい音色の特徴を感じ取りやすい曲となっている。(1分30秒)</p> <p>・曲を全部流したり、部分的に流したりしながら考えさせる</p> <p>・子供から出た気付きを板書に整理する(音楽を形づけている要素と曲想をつなげる)</p> <p>【思・主】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりについて考えるとともに、それらの働きが生み出すよさを見いだしながら、音楽の美しさを味わって聴いている</p> <p>◇楽器の音色や旋律の特徴に、着目しながら楽曲のよさなどを感じ取りながら聴いたり、自分の考えをもって音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる</p> </div>

## 5. 本時の目標 (2/3)

金管楽器で演奏された楽曲を聴き比べることを通して、**音色と曲想との関わり**を見つけ、話すことができる。

## 6. 本時の展開

学習活動 【子供の姿】手立て 教師の働きかけ（○発問、△補助発問、口指示・説明）	◇評価の内容 【】評価の観点 ・指導上の留意点
<p><b>1 前時を振り返る。</b> ○前回学習した金管楽器の名前は覚えていますか？ ・トランペット ・ホルン ・トロンボーン ・チューバ △どんな特徴があったかな？ ・楽器の大きさが違った ・演奏の仕方が違った ・どの金管楽器もマウスピースで音が出る ・音色に違いがあった</p> <p><b>2 本時の課題を把握する。</b> □「今日はトランペットで演奏された曲を聴きます」 ・「<b>アレグロ</b>」を聴く。 ※トランペットで演奏された楽曲を使用する。 ○曲を聴いて感じたことはありますか？ ・明るい感じ ・元気な感じ ○どうしてこのように感じたのかな？ ・何かひみつがありそうだ 曲の感じ方のひみつを<b>音色に注目して</b>見つけよう！</p> <p><b>3 他者と交流しながら、楽曲のひみつ(よさ)を見つける。</b> □「もう一度聴いてみよう」 ・何度か演奏を聴く。 ○気付いたことはありませんか？ ・トランペットの高い音があるから明るく聴こえるんじゃないかな。 ・はずむような感じがしたから、元気に聴こえたんだと思ったよ。 □「では、他の金管楽器（※ホルン）で演奏された曲も聴いてみます」 ○トランペットと同じ金管楽器で演奏されるから、ホルンも同様な感じ方をするのかな？ ・「アレグロ」を聴く。 ○曲を聴いて感じたことは、 ・やさしい感じ ・おたやかな感じ ○気付いたことはあるかな？ ・トランペットよりは低い音だな ・あれ？同じ曲なのに、なんだが違う曲のように聴こえたよ。 ○同じ曲なのに、どうして違うように聴こえたのだろう？何かひみつはあるのかな？ ・トランペットと比べて、ホルンは少し低い音だから、やさしい曲に聴こえて、レストランとかで流れているように聴こえたんだと思う。</p> <p><b>4 本時で学んだことを振り返る。</b> ○曲の感じ方のひみつは見つけられたかな？ ・楽器によって音(音色)が違うから、曲の感じ方も違うように聴こえてくるといひみつを見つけられた。 ・楽器の種類が違うと、同じ曲であっても違うように聴こえて、そこが面白いなと思ったよ。</p>	<p>・必要に応じて、楽器の写真を見せる。</p> <p>・音源は、教育芸術社鑑賞 CD1 と、トランペットだけで演奏されたアレグロを比較聴取する。 *アレグロ：曲の構成がA—B—Aコーダと言って簡素なもので演奏時間も短くなっている。2本のホルンのみで演奏され、繰り返し出てくる旋律とホルンの柔らかい音色の特徴を感じ取りやすい曲となっている。(1分30秒) ・曲を全部流したり、部分的に流したりしながら考えさせる。 ・子供から出た気付きを板書に整理する(音楽を形づくっている要素と曲想をつなげる)。</p> <p>【思・主】</p> <p>◇楽器の音色の特徴と曲想の関わりについて考えると、ともに、それら働きが生み出すよさを見いだしながら、音楽の美しさを味わって聴いている。</p> <p>◇楽器の音色や着目しながら、楽曲のよさなどを感じ取りながら聴いたり、自分の考えをもって音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。</p>